



2018年
クイーン倶楽部だより 5月号

第183号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL http://www.eco-rice.jp/
E-mail office@eco-rice.jp



右:当社エコ・ライス新潟の近くにある、生産者(市川さん)の田んぼの様子。4月23日、田起こしの真っ最中でした。

左:①トラクターにGPSブロードキャスターを搭載して、田んぼのバラツキに合わせて肥料散布。
②田んぼの上空にはGPSの衛星が数多く飛んでいます。それを利用。(GNSS Viewで衛星を確認できます。
③GPSの機器。取り付け、取り外しは簡単にできます。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学大学院客員教授。
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。5月には開業予定。

ドクター "N" の 私にも一言言わせて

その 37

※ドクター…英語で博士の意味

米国の白人青年化する日本青年

米国の白人青年といえば、トランプ大統領支持者層を指します。その指示理由は、自分達は上位にランクされている筈が、よき職場に巡り合えていない、外国人労働者に安価攻勢で職を奪われているという被害意識があり、移民制限、メキシコ国境に壁をと打ち上げたトランプ大統領を支持した次第です。

その声に実現すべく移民政策をとり、輸入制限など具体策を打ち出しましたが、彼らが大きく恩恵を受けたことはなく、現実は何ら変わりません。青年たちは失望し憂き世を儂み、ドラッグ、社会不適應の世界に没頭し歪んだ社会現象が生じつつあります。

いま、この現象が日本で起きています。白人青年が日本青年に相当します。その証は今起きている「人手不足で、日本人の若人は、テレビドラマでいい部屋に住み、格好いい暮らしをしている主人公を真に受けて、本気でその気になっています。

しかし、働かねば食べてゆけませんので働き始めますが、現実はずっと格好良さがないので、二、三か月で辞めてしまいます。このため、職場は新募集せざるを得ず新募集します。入って来て、また去り、再募集という人材市場は高回転操作になっています。世間ではこれを人手不足と表現しますが、見せかけの人手不足なのです。

この見せかけの人手不足に対し、徐々に外国人の進出が見られ、外国人店長、料理長、現場責任者など要職を勝ち取って来ています。数年前から、それまで卒業し、職が得られずほぼ全員帰国していた留学生が、就職でき、帰国しないで働けるのはここ数年の現象です。

日本青年の現実が増々厳しくなっています。ここ一年で外国人の介護学校への入学が急速に増加しています。数年後には介護市場から日本青年は弾かれ、反面ドラッグ、社会不適應は増加し社会問題化します。両親は息子、娘たちに現実教育が必要になってきました。